

## 常温合材に代わる路面緊急補修材展開へ

佐藤渡辺

佐藤渡辺は、路面の緊急補修を再加熱アスファルト混合物「SWヒートミックス」を普及していく。従来の舗装と同等の性能を確保できるほか、耐久性にも優れ、常温合材に代わる緊急補修材料として展開する。

SWヒートミックスは、1袋20<sup>キ</sup>の袋詰め、長期保管できる。出荷時には必要な量だ



け運べるため、アスファルトプラントまで取りに行く手間が省ける。通常のアスファルト舗設時の温度120―150度より30度低い約110度で施工できる。

休日や夜間といったプラントで出荷されるアスファルト合材が入手困難な場合でも、一般的な100<sup>ワット</sup>電源を使った専用のヒーターで現場や車上、事務所で加熱可能。5袋分100<sup>キ</sup>の材料を約2―3時間で舗設温度の110度まで加熱でき、道路の緊急補修で迅速に対応する。

今回、NEXCO東日本青森管理事務所管内の東北自動車道で施工した<sup>II</sup>写真。道路の緊急補修で使われる常温合材の場合、積雪寒冷地域の極寒時には同じ箇所を補修しなければいけない課題があったが、SWヒートミックスを使うことで、舗設後の強度と耐久性が改善される。

